

## 当社グループの大阪先端画像センターの遠隔読影で、 エールホームクリニック長岡様との取組が日本経済新聞で報道されました。

医療法人メディカルビットバレー様が運営するエールホームクリニック長岡様（新潟県長岡市・2023年10月オープン）は、高度な医療機能を持つ病院と、かかりつけ医として地域に寄り添う個人病院の真ん中に位置し、両者をつなぐ仕組みとして地域医療の活性化に寄与しています。

同クリニックでは、当社グループのグリーンホスピタルサプライから導入したX線CT装置1台とX線骨密度装置1台を地域の医療機関で共同利用しており、撮影された画像は同じく当社グループの大阪先端画像センターを介して、大阪大学医学部放射線医学教室に属する画像診断の専門医の先生方によって読影いただいております。

導入費用が高額なためCTを備えている医療機関は多くありませんが、本取組により、長岡地域の患者様も地元で居ながらにして専門性の高い画像診断をお受けいただくことが可能になりました。

この一連の取組を2024年5月29日の日本経済新聞で報道され、大きな反響を呼びました。

メディカルビットバレー様の取組が、地域医療の現場に広がっていくよう、引き続き当社グループでも支援してまいります。

医療法人メディカルビットバレー  
エールホームクリニック長岡様



### ■ 大阪先端画像センターとエールホームクリニック長岡様との遠隔読影の流れ



#### 【大阪先端画像センターとは】

大阪大学放射線医学講座が中心となり、先端画像医学に関する多施設共同研究や民間機関との共同研究を支援し、さらには国内外の研究状況についての情報を収集する活動や社会一般に対する広報活動を行うことによって、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とした、特定非営利法人大阪先端画像医学研究機構（略称：OAIMRG）の設立に伴い、この法人の事業の一つとして、「遠隔読影サービス提供」の実施が採用されました。

当社グループである株式会社大阪先端画像センターは、そのシステム構築や管理を担当する会社として、時代に先駆け2005年3月に設立されました。

[エールホームクリニック長岡様の遠隔読影について、詳しくはこちら。](#)